



3月4日(火)

## 子どもたちのための祈り

聖書朗読 士師記 13:1~8

わが子よ。私のおしえを忘れるな。私の命令を心に留めよ。そうすれば、あなたに長い日と、いのちの年と平安が増し加えられる。箴言 3:1~2

かつては不妊の女性であったサムソンの母は、主の使いが現れて、彼女はみごもり息子を産むと言われたと、夫であるマノアに言いました。それに対するマノアの反応は思いもよらないものでした。神からの使いに対して息子のことを質問したザカリヤ(ルカ 1:18)とは違って、マノアはすぐさま『主よ。どうぞ、あなたが遣わされたあの神の人をまた、私たちのところに来させてください。私たちが、生まれて来る子に、何をすればよいか、教えてください。』と祈りました。彼の祈りは応えられました。マノアの主への心からの祈りは、全ての親が日々するものと同じでした。

私の友人のルツは、息子の将来のお嫁さんのことをあらかじめ祈っていました。その息子が結婚した時に分かったことですが、しばらく前から、お嫁さんは家の近くの教会に通いながら神様を求める生活を送っていました。そして、なんとそれはルツがちょうど祈り始めた時だったのです。二人が大学で出会った時、彼女は、ルツが祈っていたとおりのクリスチャンの妻になる準備がすでにできていました。私たちがまた、子どもたちのために祈ることによって(特に子どもたちの安全、精神の健康、将来のために祈ることによって)我が子や気にかけている子どもたちの人生に神様の御力が及ぶことを喜んで受入れることができます。子どもを育てる中で、神に助けを求めるのに早すぎることは決してありません。

讃美歌 第二編 191

祈り 全知全能の神。あなた様とお父様が私たちを導いてくださるとともに、世界中の両親をあなた様がお助けくださるようお祈りいたします。愛する子どもたちとうまく接する知恵をお授けください。

イエス様の御名によって。アーメン。

ラニータ・ブラッドリ・ボイド

ケンタッキー州 フォート トーマス

3月5日(水)

## 神は私の神

聖書朗読 ルツ記 3:1~13

ルツは言った。「あなたを捨て、あなたから別れて帰るように、私にしむけないでください。あなたの行かれる所へ私も行き、あなたの住まれる所に私も住みます。あなたの民は私の民、あなたの神は私の神です。ルツ記 1:16

私はルツ記を読むのが好きです。彼女の美しい言葉が大好きです。彼女は義母を愛していました。ナオミもまたルツを愛していました。彼らは続く深い悲しみの中にいました。ルツは畑で一生懸命働き、ナオミはいつも彼女を励ましました。

ルツは善い人であるボアズと結婚しました。彼らに男の子が生まれると、オベデと名付け、彼はダビデの祖父となりました。後にルツはダビデ王の曾祖母となりました。なんとめぐみ深いお話なのでしょう。信仰深い女性ルツと義母となったナオミ、そして愛情あふれる夫ボアズのお話です。

ルツとナオミとボアズは神の御心に従いました。神様は彼らの道筋をお決めになられていたのだと信じます。14世代後、イエス様がお生まれになりました。イエス様がお生まれになったことに心から感謝いたします。

私たちはまだ天国にはいません。トラブルに見舞われることもあります。しかし、神様は決して私たちのもとを離れません! ルツ、ナオミ、ボアズの神であられる御方は私たちの祈りを聞いてくださいます。

讃美歌 286

祈り 親愛なる主。生涯周りを手助けして生きていけますように。決してわがままにならず、いつも親切で、思いやりのある人となれますように。あなたを見て、従うことができるようお助けください。あなた様を信じます。

イエス様の御名によって。アーメン。

ジョン・クレイトン

ニューメキシコ州 ポルタレス

3月6日(木)

## 熱心に祈る

聖書朗読 Iサムエル 1:1~10

ハンナの心は痛んでいた。彼女は主に祈って、激しく泣いた。 Iサムエル 1:10

ハンナは神を恐れる信心深い女性でした。そして、子どもはいませんでした。古代のイスラエルでは、女性の価値は、夫のために生んだ子どもの数(得に息子の数)で計られていました。ハンナの夫がハンナのことを深く愛していたことは疑いのない事実でしたが、ハンナにとってはあまり慰めにはなりませんでした。彼女は夫に息子を抱かせてあげたかったのです!

恒例の行事で、主の宮に上がっていくとき、ハンナは彼女の胸の内を神へ吐きだしました。

他の家族がいけにえの儀式に参加している中、ハンナは祈りました。激しく、切羽詰まって祈るのではなく、彼女は静かに祈り続けました。唇は動き、涙が彼女の頬を伝わっても、いっさいの言葉は聞こえませんでした。

神様はハンナの心の底からの深く感情に訴える祈りをお聞きになられ、お応えになられました。ハンナはその子を「私はこの子を主に願ったから」と言い「サムエル」と名づけました。サムエルの母とエリの訓練のおかげで、サムエルは、彼の時代の偉大な「祈りの戦士」となりました。サムエルは二つのイスラエルの王を名乗り、大祭司と士師としてつかえました。

母の祈りは効くのです!

聖歌 606

祈り 主よ。私を無気力な祈りから救い出してください。私の心の奥にある願いをあふれださせ、どうしようもなく弱い自分を救ってくださるよう、あなた様の強さを求めて叫ぶことことができますようにお助けください。あなた様の聖霊の導きを受け入れるために私の心を開いてください。あなた様の御子に似せて私を形作ってください。

イエス様の御名によって。アーメン。

パット・アンドリュース  
テキサス州 アビリン

3月7日(金)

## 神をほめたたえる or 自分の記念碑を建てる

聖書朗読 Iサムエル 15:1~12

この場合、管理者には、忠実であることが要求されます。 Iコリント 4:2

ある日の午後、私は従業員に十分なお金と、必要なものの詳しい説明書きを持たせて買い物に行かせました。しかし、その従業員は、言っていたものよりも安価な物を買ってきました。彼にしたら私が喜ぶと思ったのでしょうか。私は彼に少し腹が立ちました。彼が買ってきた物では、私の目的が果たせなかったからです。しかし、その従業員はいいことをしたと思っていたようでした。

神はモーセにアマレクがしたことと、それに対して受けた罰両方を書物にするすようにおっしゃいました(出エジプト 17:14)。神は、アマレクの民に対して行った残虐行為のためにアマレクを完全に破壊するという困難な仕事をサウルに与えました。神はサウルに詳細な指示を与えました。しかしサウルは部分的にしか主に従いませんでした。完全に服従することによって神をほめたたえる代わりに、彼は自身の行いの記念に記念碑を建てました。サウロは神の心になかった人にはなれなかったのです。神は神の祝福という賜物を持っている、心から神に従うリーダーを探しました。

私たち全てが自身の命と財産を手にかけています。ほとんど人が神からの多くの賜物(子ども、家、仕事、チャンス、何らかの影響)を頂いています。しかし、その祝福を受ける度に、神をほめたてるか、自分の記念碑を建てるのかを選ぶなくてはなりません。

讚美歌 448

祈り 慈悲深いお父様。毎日祝福の多くの賜物に感謝します。あなた様の素晴らしい賜物とすばらしい愛を忘れることがないようお助けください。

イエス様の御名によって。アーメン。

ロン・グズマン  
テキサス州 ラボック

3月8日(土)

## 強くなれ！ 勇敢であれ！

聖書朗読 Iサムエル 17:1~11

子どもたちよ。あなたがたは神から出た者です。そして彼らに勝ったのです。あなたがたのうちにおられる方が、この世のうちにいる、あの者よりも力があるからです。

Iヨハネ 4:4

イスラエル人はこちらの山に、ペリシテ人は向こう側の山に谷を隔てて陣営を立てました。ゴリアテがサウルの軍隊を背にして立ち、40日間もの間ゴリアテはイスラエルを震いあがらせました。

ある日ダビデは、たとい私は死の影の谷を歩もうとも、わざわざを恐れませんが歌いました。おそらく、ダビデは死が不気味に迫っている谷を、その陰がイスラエルを覆い、向こうの山に並んでいる敵以外は何も見えなくなっているのを思い起したのでしょう。

直面している悪が何であろうと、それがただ去るということはありません。つまり、悪により囚われの身となり、破壊されます。悪は目的を遂げるための恐ろしい武器を持っているのです。私たちはときどき、「人生に立ちふさがっている巨人は何なのだ？」と思うことがあります。私たちはまた、「なぜ」「何時」「誰が」「どのように」と聞くべきでしょう。なぜ私たちは恐れるのでしょうか？ それに対していつ何をすればよいのでしょうか？ 誰が私たちを助けてくれるのでしょうか？ どうやって？

ダビデのようになればよいのかもしれませんが。もしくは、サウルのように助けに来てくれるダビデが必要です。どんな場合であれ、信仰の目を持って見て、主の名によって勇気を持って恐怖に立ち向かいましょう。

聖歌 657

祈り 親愛なる主。何に直面しようとそれを乗り越えることができるようあなた様は私に手を差し伸べてくださることを信じています。不信仰な私をお導きください。困難の根元を見て、いち早く行動する大胆さ、励まし導いてくれる友人を見分ける知恵を、人生の困難な道のりを歩む時のお導きをお与えください。

イエス様の御名によって。アーメン。

ケニス・ホーレー  
テキサス州 ラボック

3月9日(日)

## 真の友

聖書朗読 Iサムエル 20:12~23

友はどんなときにも愛するものだ。兄弟は苦しみを分け合うために生まれる。

箴言 17:17

聖書の中の3箇所、ヨナタンは「自分と同じように」ダビデを愛したと書かれています(Iサムエル 18:1, 3, 20:17)。『ヨナタンは、着ていた上着を脱いで、それをダビデに与え、自分のよろいかぶと、さらに剣、弓、帯までも彼に与えた。』(Iサムエル 18:4)。これらの贈り物はそれはそれは豪華なものでした。ヨナタンは後にダビデへの愛を、はるかに高くつく方法で証明しました。

ヨナタンは次の王となるはずでしたが、ダビデの方がふさわしいと思ったので、『イスラエルの王となり、私はあなたの次に立つ者となるでしょう。』とダビデに言いました(Iサムエル 23:17)。

ヨナタンは自分の身の危険を冒し、ダビデに信義を守りました。あるとき、ヨナタンが恐れずに友を庇ったとき、サウロはヨナタンに向かってやりを振り上げました(Iサムエル 20:30~34)。

もう一つ、ダビデの人生の中で特に最悪な状態の時、ヨナタンはダビデのところに来て、神の御名によってダビデを力づけました(Iサムエル 23:16)。このような誠実な友の死をダビデが嘆き悲しんだのは当然です。『わたしの心になつた者で、わたしのこころを余すところなく実行する者』(使徒の働き 13:22)と神様に言われた者に惹かれるのは当然のことでしょう。

讚美歌 312

祈り お父様。誰かのために命を差し出せと言われた時、御子が私たちのために命を捧げることで示して下さった献身的な愛と同じものを差し出すことができますように。

イエス様の御名によって。アーメン。

ディビット・ギブソン  
テキサス州 コマース